

令和2年度 第2回 長野市景観審議会記録

日時 令和2年7月30日(木)

午後3時10分～午後4時35分

場所 市役所第一庁舎 7階 第一・第二委員会室

出席委員 12名

赤羽委員、稲葉委員、大上委員、久米委員、野口委員、石黒委員、北村委員、
篠原委員、土倉委員、下崎委員、塚田委員、西澤委員

欠席委員 3名

羽藤委員、山貝委員、湯本委員

※長野市景観賞 現地調査

出 発：午前9時00分(桜スクエア)

調査地：長野市内各地

帰 庁：午後3時00分

※審議会

1 開 会

定足数の確認

2 会長挨拶

3 審 議

- ・第33回長野市景観賞の最終選考について

事務局：【資料2により実施要綱、実施要領及び選考要領について説明(省略)】

議 長：ただ今の説明について、質問はあるか。

【質問なし】

議 長：本日現地調査を行った作品について、感想や意見を頂きたい。

【発言なし】

議 長：採点をお願いしたい。採点后、集計のため休憩とする。

【採点・集計のため休憩】

【審議再開】

事務局：【採点集計結果について高得点順に説明】

議 長：ここから景観賞、景観奨励賞ということで、皆様の意見を伺ってから最大5作品に絞り込みたい。

委員：上位の2作品（つち茂物産展・スターバックスコーヒー信州善光寺仲見世通り店、長野県立大学 三輪キャンパス）が非常に高得点だが、高得点を入れられた方に良かった点を差し障りのない範囲で伺いたい。

委員：つち茂物産店は、門前特有の蔵造りの外壁と屋根で仕上げられており、二つの店がうまく融合している。裏側についても、サービスヤードの前面に壁を作って覆っていて、街に対しての付き合い方みたいなものが非常に良くできているという印象である。

長野県立大学三輪キャンパスについては、しっかりとしたコンセプトの元に地元の材料を使っているという形が見え、良い雰囲気、周辺の景観に対しても大きな良い影響を与えていると感じられた。

委員：私もこの2作品には高得点を入れたが、ずば抜けていると思う。また、一次審査の時の印象と現場での印象がこうも違うのかと思った。

委員：つち茂物産店は、東側の通りからの見せ方であったり、佇まいは良いと思った。ただ、入り口の裏側からの入れ方というのはもう少し工夫してもよかったのかなという気がした。

三輪キャンパスは、アプローチからの見え方が良かった。非常にオープンな空間の中に大きなシンボルツリーがあり、その奥にある建物も窓割りなどが良いリズムで切り取られおり、良い印象があった。

委員：ファサードにスターバックスのオリジナルを強調していないというのは、非常に評価が高いと思うが、スターバックスでないお店だったら、どのくらい評価するかなと思った。

三輪キャンパスは余りに素敵で、もう一回大学に入りたいという勉強の意欲まで湧いてきた。

委員：選考要素の「長野市民の誇りになりうるもの」に注目したが、どちらも、市民の誇りとなって、皆さんに紹介したいと思う建物だと思った。

つち茂物産店の入り口の黒竹の使い方がとても味わいがあり、コーヒーにつながる色合いで、とても素敵だという印象を受けた。

議長：反対意見はあるか。

委員：上位2作品には投票はしているが、実は高い点数ではない。どちらも確かに周辺に良い影響を与えていると思いますし、特に誇りを持つという点では素晴らしいと思うのが、逆に見ればスターバックスさんというのは、ある意味で商業化したものであるのもので、その辺をどう見るのかなというのがある。

三輪キャンパスは、以前の建物と雰囲気が大きく変わって、良く言えば開放的になったが、手前の古い建物くらいしか面影がないのが私にとっては少し残念だった。

議長：圧倒的な点差があるので、2作品を景観賞としたいが、反対意見はあるか。

【反対意見なし】

議長：それでは、つち茂物産店・スターバックスコーヒー善光寺仲見世通り店と長野県立大学三輪キャンパスを景観賞に決定したいがよろしいか。

【異議なし】

議長：次に景観奨励賞について、御意見や感想をいただきたい。

委員：最大で5作品ということなので、点数だけとは限らないが、点数で見ると限りは、3位の空と対話する開放なやすらぎと4位のカクザトーレ長野を奨励賞とする提案をしたい。

5位のそば処やぶと笠間整形外科まで入れてしまうと6作品となるので、5位については採用できないと思うが、点数だけで判断するものではないとのことなので、5位の作品に点数を入れた方で、そこで切られてしまうというのは残念だという御意見があれば仰っていただきたい。

委員：そば処やぶは、空調の室外機などが道路に面してそのまま露出してしまっていて惜しい。また、外壁がデザイン的にすごくおもしろいと思っていたが、もう少しメンテをした方が良いのかなと思った。景観賞というものを意識したときに、オーナーさんの心構えみたいなものも評価したいと思っていますが、そういったものが見受けられなかったのが残念だったので、第3位と第4位を奨励賞とすることでよいと思う。

委員：まちの縁側ちょっとお寄んなしては、写真で見るとよりも、実際に見ると、非常に良い場所だと思った。なおかつ陶芸教室のようなものも外に向けてやっているというのは、非常に新しいというか、おもしろい試みで、5位の2作品よりも上かなと思った。

議長：奨励賞まではいかないけれど、評価はするというのでよいか。

委員：奨励賞に入れていただけるのであれば、面白い作品だと思う。

委員：5位の2作品を飛ばして、まちの縁側を奨励賞にして、奨励賞3作品とするという今の御意見に賛成である。

委員：私も高い点を入れたが、点数が全てではないといっても、5位との点差が大きいことと、今までの選考から見ると、点数というのをある程度尊重していたということもあるので、確かに新しい発想ですし、良いものなので、奨励賞になればうれしいだろうなという印象はあるが、そのあたりを皆様がどのようにお考えになるかというのをもう少しやりとりをした方がよいと思う。

また、ちょうど良い機会なので、点数と点数を超えたものについて、皆様の御意見を聞いてみたいと思う。

議長：点差が大きいので、皆様を説得できるような強い御意見があれば、出していただきたい。

委員：現地に行った瞬間に、結構これ好きだなと思ったが、最終的に入れなかった。景観賞というある意味権威というか、それに照らしたときに、良い取り組みではあるけれども、明確に説明できないが、ほかと比べたときに違うのかなと思った。

委員：私以外には余り点数が入っていないということは、景観賞に値しないと

思っている方が大勢いると思います。ただ今の御意見のように、良いとは思わなかった、という意見があればお聞きしたい。

委員：私も行って見たときには、良いなと思ったが、人が余り立ち寄っていないのではないかと思ったのと、せっかく本当に井戸があるのなら、もう少し水の流れが出るようにしてもよいのではないかと思った。

また、景観賞として評価するときに、井戸の造り込みがちょっと引っかかってこないところが残念だなというのも感じた。

委員：井戸の水が出るのであれば、水が流れる景観を創った方が良いと感じた。

委員：選考要素の3番の「オープンスペースの提供など、地域社会に対して配慮されているもの」だけに二重丸を付けて帰ってきた。地域の皆様に親しまれる場所になってほしいという希望もありつつ、景観賞としては点数を入れなかった。

委員：オープンスペースという形で、思い切ったことをやられていて、すごくその辺は感心していたが、景観賞というか、コミュニティー賞みたいなジャンルがあれば当てはまるのかなと思った。また、こういった形のものがどんどん増えていけばいいなと思った。

委員：取り組み方というか、姿勢はすごく良いと思ったが、やはり景観賞という括りで考えると、まだ少し寂しいかなというのが正直なところで、もう少し待って良くなるものであるか、その辺が少し見えないが、今年に限って言えば、すごく評価はしたいが、景観賞に入れるかという話になると、クエスチョンマークが付いたところである。

議長：意見がそれぞれ分かれているので、ここで入れるかどうか多数決で決定したいと思う。

委員：上の2作品を飛ばして、奨励賞を3作品とするのであれば、5位のもう1作品笠間整形外科についても話をしないといけないということになる。

議長：いかがでしょうか。

【発言なし】

議長：点数がすべてではないのですが、ちょっと差がつきすぎているから、私は、今回は残念で、そしてほかの皆様もおっしゃったとおり、来年以降に期待ということでいければと思っている。

委員：私以外には余り点数が入っていない理由をお聞きしたかったが、それを大分お聞きして、なるほどなという気もしている。

ですから、もう少し人が集まるような仕掛けをきちんと作った方が良いのではないかということと、もう少し時間をかけた状態で、皆様が使われた状態が分かってきたくらいのところ、もう一度チャレンジされた方が良いのかなという印象を持った。

ちょっと点数が離れすぎているので、5位の2作品を飛び越えて、まちの縁側を5番目として奨励賞に入るのは、ちょっと難しいだろうなというのが、正直な感想ですので、一回議論として取り上げたが、奨励賞は2作品だけということで良いのではないかと、再度提案をします。

委員：飛び越えた方が良いなと思っておりますが、もう一つ上にある笠間整形外科についても、少し皆様の御意見をお聞きして納得したいと思う。

委員：建物としても、非常に良くできているという印象である。道路側にあるタイルの壁の下をスリットにして、庭園を見せているやり方とかも、道を歩いていく人がちょっと見たときに中の庭が見えるというような配慮がされており、非常に楽しいなという印象があったし、建物全体として鑑賞しても良いですし、裏側もそれ程悪くはないという印象であるが、広い駐車場がもう少し緑化されていたら、良かったのかなと思う。全体としては、非常に景観に配慮された施設であるという印象である。

委員：スケール感、特にエントランスの車寄せが大きすぎて、周りに威圧感を与える建物だなという印象があったので、周囲との調和ということから考えると、私は余り評価していない。

委員：スケール感はあるかもしれないが、特に遠景よりもエントランス周辺の造作であったり、建築的な部分はしっかりできているなという印象である。

キャノピーもスケール感は少し大きいですが、整形外科なので、ある程度の広さが必要だと思う。

エントランスに向かって右側の空地は、スリットで道路側から見えるというよりは、待合室の方からそれを見ることができたり、光を取り入れたりすることができる部分での効果があるのかなと思う。

駐車場は確かに植栽がちょっと少ないと思うが、ポイントでコーナーの辺りなどにツゲを密植させたりしており、今後期待したいなということで若干高めに評価した。

委員：建物西側と歩道の間が舗装されてしまっていて残念という意見が現場であったが、あの部分は植栽しない方が良い感じなのか。それとも植栽があった方が効果的なのか。

委員：私は、あの部分は植栽した方が良かったと思った。敷地をあのようにならざるにバックさせるのであればフラットにして植栽にすればレンガタイルの壁に緑が映えてもっと良かったと思った。

委員：私は笠間整形外科に二番目に良い点数を入れた。一番にしなかった理由は、今御指摘のあったとおりなのですが、スケール感は、分かっているところがあると思う。キャノピーは、あのくらいにしないと例えば救急車が停まるとか、ある程度ないと濡れてしまうとか、必ず必要なものだと思う。

それで、目地を入れたりして、工夫されているのだと思う。敷地の中のスケールから見ると、駐車場全体の中で処理すれば、あの様な感じなのかと、建物がすごく精密に造られていたので、その辺は配慮されているのではないかと思う。

駐車場がモノトーンのアスファルトというのが、ちょっと残念である。

議 長：ほかに何か御意見はあるか。

【意見なし】

議 長：賛否両論で様々な御意見があった中で、笠間整形外科を奨励賞に入れるかどうかということについて、多数決で決めたい。

【奨励賞に入れないとする委員が多数】

議 長：笠間整形外科は奨励賞にしないこととします。

全体を通してほかに何かあるか。

【発言なし】

議 長：それでは、確認したいと思う。景観賞は、つち茂物産店・スターバック スコーヒー信州善光寺仲見世通り店と長野県立大学三輪キャンパスの2作品。景観奨励賞は、空と対話する開放的なやすらぎとカクザトーレ長野の2作品ということで、第33回長野市景観賞を決定してよろしいか。

【異議なし】

議 長：ありがとうございました。

本日は、一日、そしてまたここで、それぞれの皆様から各々の立場で、また、違った色々な目を見ていただき、御意見を頂きました。

その結果第33回の景観賞が決定しました。本当にありがとうございました。以上で議長を降ろさせていただきます。

4 その他

事務局から今後の予定について説明

5 閉 会

都市整備部長挨拶